

平成 18 年 7 月 5 日

各 位

会 社 名 マルカキカイ株式会社  
代表取締役社長 釜江 信次  
(コード 7594 東証・大証第 2 部)  
問合せ先 常務取締役管理本部長  
森 康明  
(TEL 072 - 625 - 6551)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 1 月 13 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1 平成 18 年 11 月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 12 月 1 日 ~ 平成 18 年 5 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 ( A )	21,422	1,031	632
今回修正予想 ( B )	22,077	1,202	692
増減額 ( B - A )	655	171	60
増減率 (%)	3.1	16.6	9.5
前期 (平成 17 年 11 月中間期) 実績	19,611	739	430

#### 2 平成 18 年 11 月期個別中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 12 月 1 日 ~ 平成 18 年 5 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 ( A )	16,500	630	380
今回修正予想 ( B )	16,447	840	492
増減額 ( B - A )	53	210	112
増減率 (%)	0.3	33.3	29.5
前期 (平成 17 年 11 月中間期) 実績	15,665	547	318

3 平成 18 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	43,890	2,247	1,358
今回修正予想（B）	45,400	2,400	1,360
増減額（B - A）	1,510	153	2
増減率（％）	3.4	6.8	0.1
前期（平成 17 年 11 月期）実績	40,963	2,224	1,228

4 平成 18 年 11 月期個別通期業績予想数値の修正（平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	35,000	1,562	937
今回修正予想（B）	34,500	1,786	1,086
増減額（B - A）	500	224	149
増減率（％）	1.4	14.3	15.9
前期（平成 17 年 11 月期）実績	32,459	1,740	968

5 業績予想修正の理由

中間期業績につきましては、売上高では、業績に占めるウエイトが高い単独は、産業機械部門の国内販売が堅調に推移したことと、建設機械部門の輸出が好調に推移したことから、ほぼ計画通りとなる見通しであります。利益は、産業機械部門の利益率が計画を上回ったこと、販売費および一般管理費が計画を下回ったこと、貸倒引当金の戻入益があったこと等から、営業利益で年初予想比 43%増、経常利益で同比 33%増、当期純利益で同比 30%増となる見込みであります。

また、連結の中間期業績は、売上高は子会社・マルカアメリカが米国の好調な産業機械の設備投資にも支えられ、計画を上回ったことなどにより、年初予想比を 3%上回る見込みであります。利益は国内子会社・ソノルカエンジニアリングがユーザーの納期が下期に繰り延べになったことや、インドネシアの子会社がユーザーの設備投資の見直しなどで計画を下回りましたが、マルカアメリカの利益が大幅に増加し、経常利益で年初予想比 16%増、当期純利益で同比 10%増となる見込みであります。

尚、中間期の業績見通しを踏まえ、通期業績見通しも修正いたします。下期業績は上期に引き続いて、単独およびマルカアメリカを中心として子会社全体でも堅調に推移する見通しであり売上高、利益ともに上方修正いたします。（単独の売上高のみ年初予想比微減（1%減）といたします）

以上

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。